

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
【現地駐在】TTB 銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)
HD 銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【釜山支店】

【インサイト SDGs】脱プラスチックによる韓国の変貌を読み解く(前編)

1. はじめに

もうすっかり夏ですね。近年は、夏が異常に暑かったり、冬が異常に寒かったりと、気候変動のニュースをよく耳にします。世界各地で見られる気候変動のほとんどは、環境汚染によるものとの見方もあり、特に環境汚染の主犯とされるプラスチックに対して世界各国は対策に乗り出しています。

今年4月に日本で施行された「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律(プラスチック新法)」のように、世界共通目標SDGsへの対応が大きく報道されています。更には環境汚染や社会的規範、コーポレートガバナンスの遵守に配慮したESG経営が注目を集めており、韓国の場合、特に脱プラスチック化やカーボンニュートラル(CO2削減)といった環境問題に対し、いかに企業として対応していくのか、ということが重要な課題となっています。

さて、今回のアジアニュースでは話題の「プラスチック新法」に注目し、日韓におけるプラスチック社会の変貌や脱プラスチックに向けた取組を比較しながら、韓国における推進事例についてご紹介します。

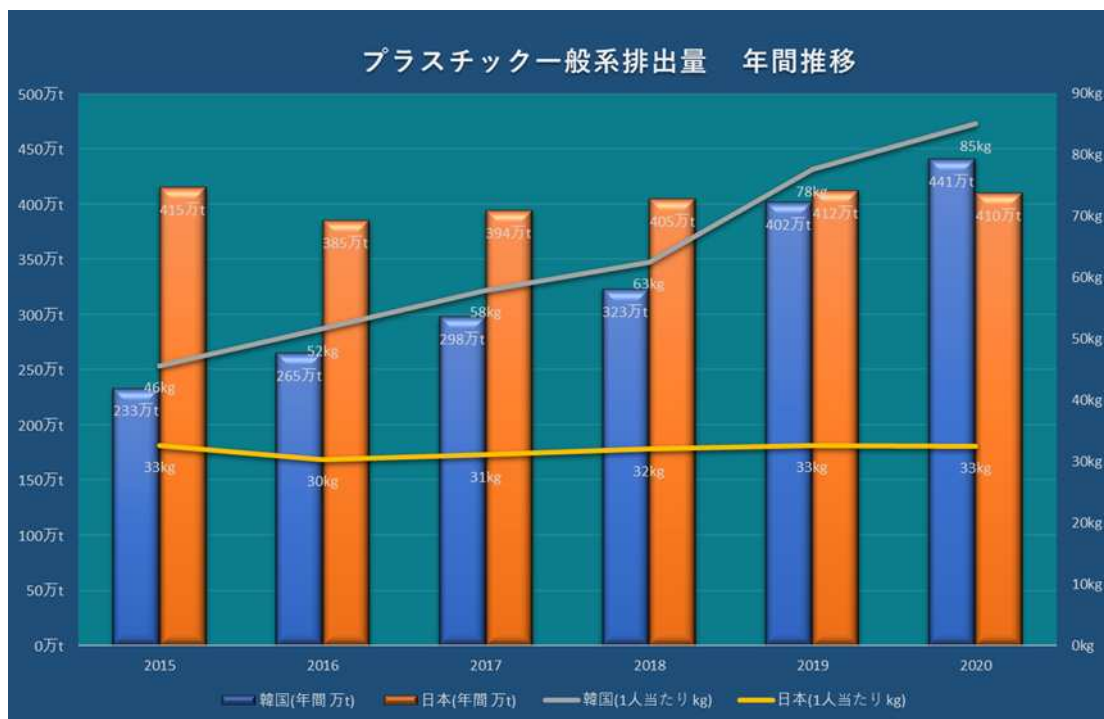


(出典：国際連合広報センター)

2. 韓国プラスチック社会の現状について

韓国は世界的にプラスチックを多く消費する国です。昨年の全米科学・工学・医学アカデミーの報告によると、2016年度現在、韓国の一人当たりのプラスチックごみ排出量は世界3位で、日本(世界16位)よりも多いことがわかりました。私の住んでいるアパートの分別ごみ収集場に積上げられたプラスチックごみを見ると、その多さを痛感します。

実際、近年のプラスチックごみ排出量(産業系廃棄物除く)を韓国と日本とで比べてみると、韓国における排出量は2015年233万tから2020年441万tへ89%増加し、2020年には日本における排出量410万tを超えています。また一人当たりの排出量をみると、日本は2015年以降33kg程度で概ね横ばいとなっていますが、韓国は2015年46kgから2020年85kgへ85%増加し、日本の2.5倍以上の数値を記録しています。近年では新型コロナウイルス感染拡大による生活環境の変化が影響を与えており、韓国ではプラスチックごみ排出量が年々増加傾向にあります。反面、日本ではPETボトル等の一部プラスチック製品の排出個数は、韓国同様に増えているそうですが、3R運動(リデュース・リユース・リサイクル)のリデュースに該当するプラスチック軽量化等によって、プラスチックごみ排出量の増加は抑制されているようです。



(出典：韓国資源循環情報システムデータ、日本プラスチック循環利用協会データ)

ただ、このように韓国でプラスチックごみが急増している理由には韓国特有の事情があります。韓国では、どこでもデリバリーを意味する「배달(ペダル)」が昔から根付いており、デリバリーが日常生活に浸透しています。携帯電話の進化、新型コロナウイルスの影響により、飲食物等を携帯アプリで注文する人が急増しデリバリー市場がさらに成長・拡大しました。そのような環境下で弁当箱や使い捨てコップのようなプラスチック容器を使用・廃棄する機会が増えているのです。数字で見る

と分かるように、韓国は日本よりも脱プラスチックに対して深刻に向き合わなくてはならない状況にあります。

また、深刻な状況であることは政府の対応方針にも見受けられます。両国は共にプラスチック削減に向け、対策目標を策定、日本は2022年4月に「プラスチック新法」、韓国では2022年6月に脱プラスチックに向けた新たな法令が施行されています。実際に対策・戦略目標を下記の表にまとめて見ると、一見同じような目標に見えてとれますが、一人当たりの削減量で考えた場合、韓国は日本より、かなり高い数値を設定している上、早期達成することを目標として掲げています。そのため、韓国では様々な義務を課す動きがでており、今後プラスチック製品関連市場における急激な変貌が予想されます。

項目	生活廃棄物脱プラスチック対策(韓国)	プラスチック資源循環戦略(日本)
目標達成時期	2025年迄	2030年迄
数値目標	プラスチック生活廃棄物2020年比20%削減 プラスチック生活廃棄物リサイクル比率70%達成	ワンウェイプラスチック 累積25%排出抑制 容器包装リサイクル 60%達成
関連法律	資源の節約とリサイクル促進に関する法律 2022年6月10日施行	プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律 2022年4月1日施行
<韓国プラスチック対策主要内容> ・生産者に対するプラスチック容器類生産比率設定 ・プラスチック容器の厚さ制限適用 ・使い捨てコップ保証金制度導入および使い捨てビニール袋の使用禁止 ・透明ペットボトル使用義務化の拡大		

(出典:韓国環境部、プラスチック資源循環)

3. 推進事例

韓国における脱プラスチックに向けた対応について簡単に紹介しましたが、ここでは業界に影響を与えるものとして「使い捨てコップ保証金制度」と「プラスチック容器の厚さ制限適用」について説明します。

「使い捨てコップ保証金制度」は、使い捨てコップ回収率の低下改善(2009年37%→2018年5%)を目的として、

2022年12月から施行予定となっています。本制度はコーヒーショップなどで飲み物を注文する際に、使い捨てコップに対して一定金額の資源循環保証金(300ウォン/約30円)を設定し、消費者が使用したコップを返却した場合、保証金が返金される制度となっています。

また、今後使用される使い捨てコップは定められた共有規格が適用される予定で、店側の保管・運用、リサイクル業者の効率化推進が見込まれます。日本より、テイクアウトができるコーヒーショップが多い韓国で、路上



使い捨てコップ (出典:資源循環保証金管理センター)



韓国路上のプラスチックコップ(筆者撮影)

に放置されている使い捨てプラスチックコップをよく目にしますが、本制度によって大きな改善が見込まれると期待されています。

次に「プラスチック容器の厚さ制限適用」ですが、プラスチック削減の一環として、近年増加しているデリバリー用プラスチック容器に対して、2021年から段階的に種類別の厚さ制限を設定するものです。今後、容器の重さを約20%削減する計画です。数年前、高齢者向けに弁当宅配事業を行っている知人から、「日本より弁当文化が発達していなかった韓国では、適当な弁当容器を手に入れることが出来ず、日本から大量に輸入していた」という話を聞いたことがありますが、今後は本制度によって新たな需要が発生するかもしれません。



デリバリー容器の例（出典:韓国消費者院）



プラスチック分別収集(筆者撮影)

4. 終わりに

今回、韓国プラスチック社会について政府対応を中心としてお伝えいたしましたが、脱プラスチックを未来産業として積極的に新たな取組を行っている企業も数多く存在し、市場も大きく変化しています。プラスチックやデリバリー容器が大きな変革を必要としている今こそ、ビジネスチャンスがあるのかもしれません。

次回アジアニュースでは「韓国脱プラスチック社会」において注目される市場や製品を交え、具体的なビジネスチャンスについてクローズアップしていきたいと思います。今回、ご紹介した韓国プラスチック事情を含め、韓国への販路拡大や韓国企業との協業にご関心のある方は是非当店までご連絡ください。

(山口銀行釜山支店 金惠蓮)



筆者が好きなカフェ(筆者撮影)

【参考文献】

国際連合広報センター

<https://www.unic.or.jp>

聯合ニュース:韓国人1人当たりプラスチック排出量世界3位…年間88KG

<https://www.yna.co.kr/view/AKR20211202070000009>

韓国資源循環情報システム:全国廃棄物発生および処理現況(2020年)

https://www.recycling-info.or.kr/rrs/stat/envStatDetail.do?menuNo=M13020201&pageIndex=1&bbsId=BBSMSTR_000000000002&s_nttSi=KEC005&nttId=1200&searchBgnde=&searchEndDe=

一般社団法人プラスチック循環利用協会:プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況

<https://www.pwmi.or.jp/pdf/panf2.pdf>

韓国環境部:プラスチック全周期発生低減およびリサイクル対策樹立

<https://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=10&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=title&searchValue=%ED%94%8C%EB%9D%BC%EC%8A%A4%ED%8B%B1&menuId=10525&orgCd=&boardId=1420640&boardMasterId=1&boardCategoryId=39&decorator>

環境省:プラスチック資源循環

<https://plastic-circulation.env.go.jp/>

資源循環保証金管理センター:保証金制度紹介/一回用コップ保証金制度

<https://www.cosmo.or.kr/home/sub.do?menuNo=43>

韓国消費者院:報道資料/プラスチックデリバリー容器使用減らしてリサイクル率上げる方案至急準備

<https://www.kca.go.kr/home/sub.do?menukey=4002&mode=view&no=1003269610>